

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素よりJR東日本グループの経営に一方ならぬご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により当社グループも大きな影響を受け、鉄道に加え、エキナカや駅ビル、ホテルなどのご利用が大きく減少した結果、第2四半期については、全ての利益が赤字となる厳しい決算となりました。

この間、お客さまの移動に対する価値観や生活の行動様式が大きく変化しました。今後、感染流行が収束した後も、お客さまのご利用は以前の水準には戻らないと考えられます。私たちはグループ経営ビジョン「変革 2027」のもと、将来の環境変化を先取りした経営を進めてきましたが、2020年9月に、ポストコロナ社会に向けた対応方針である「変革のスピードアップ」を発表しました。今後、様々な取組みのレベルとスピードを上げ、「変革 2027」の実現に向けた歩みを加速させていきます。

具体的には、まずお客さまと社員の感染防止の徹底を継続し、「安心」「清潔」なサービスを提供するとともに、引き続き「究極の安全」を追求していくことで、当社グループの社会的使命を全うしてまいります。

その上で、成長・イノベーション戦略を再構築し、私たちの強みであるリアルなネットワークとデジタルを掛け合わせ、新しい暮らしの提案や新領域への挑戦に取り組みます。また、「ヒト起点」の発想で鉄道を中心としたこれまでのビジネスモデルを進化させるとともに、コスト構造を改革し、経営体質の強化を図ります。さらに、「ゼロカーボン・チャレンジ2050」や地方創生の取組みなど、「ESG経営」を実践して、SDGsの達成に貢献してまいります。

これからもお客さまや地域の皆さまのご期待に応えることにより、サステナブルに社会の発展に貢献する企業グループとして、株主の皆さまのご負託に応えてまいります。

当期の中間配当につきましては、第2四半期決算の状況や通期業績見通し等を踏まえ、前期より32.5円を減じ、一株につき50円といたしました。株主の皆さまには、何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。なお、中長期的に総還元性向40%、配当性向30%をめざす方向に変わりはなく、当社グループ一体となり、業績回復をめざしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループの経営につきまして、何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年(令和2年)11月
代表取締役社長

深澤 祐二

